

ボーイスカウトと地域における青少年の育成 ②

ボーイスカウト大阪連盟 コミッショナー 横山 稔

前回、ボーイスカウトは地域に根ざした活動で、運動そのものが子どもの居場所でもあると記しましたが、各地域で組織された団は、小学校1年生から大学生年代まで5つの部門で構成され、教育と活動の目標が明確に設定されています。

野外活動の面では、最年少のビーバースカウト(小学1~2年)の活動目標は「自然に親しませる」、カブスカウト(小学3~5年)は「自然に親しみ愛護する心を育てる」、ボーイスカウト(小学6~中学3年)は「野外活動により大自然を知る」、高校生年代のベンチャースカウトは「野外活動を通して自らの健康の増進を図り、自己の確立を目指す」、大学生年代のローバースカウトは「高度な野外活動により、心身を鍛錬しスカウト技能を磨き奉仕能力を向上させる」です。これらの目標をもとに、各隊と連携しながら少年から青年までの一貫した教育を行うことにより、青少年の育成を目指しています。

例えば最年少のビーバースカウトは身近な公園等で自然と親しみ、仲間と遊びを楽しみながら、基本的な生活技能、社会性、表現力等を伸ばし、カブスカウトを目指しますが、スカウトの興味と保護者の要望を取り入れ、活動目標に沿って、スカウト自らの体験を通しての活動を行っています。

ある隊では今月「田植え体験をしよう!」をテーマに隊集會が実施されました。

田植えから稲刈りまでの体験を通して、食べ物の大切さや米作りの難しさを学び、自然への感謝の心を育むことがねらいですが、このプログラムは地元農家の協力を得て実現されており、地域とのつな

がりが大切であることを示唆しています。

また組織外への活動の一例として、大阪では野外活動を推進する団体(大阪府キャンプ協会等11の団体)でアウトドアチャレンジ実行委員会を構成し、ボーイスカウトがコーディネイト役となり、「家遊びより外遊び、バーチャルよりリアル、一人よりみんなで」をテーマに、青少年の「生きる力の向上」を目指し、各種団体が協働し、それぞれの組織で培われた野外技能プログラムを基本に、体験活動を通して、その楽しさと日常生活における野外技能の有用性を公に評価する「野外力検定」入門編を実施しています。昨年11月の検定会には各団体が分担した7つのプログラムに地域子ども達がチャレンジしてくれています。

ボーイスカウトは今年7月31日~8月8日まで全国大会(第16回日本ジャンボリー)が山口県きらら浜で開催され、国内・海外から約15,000人のスカウトたちが参加。9日間に亘りキャンプ生活を共にし、数々のプログラムに挑戦しながらお互いの友情を深めるジャンボリーは、更なる成長を促す機会となります。2015年には同じ場所で世界大会(第23回世界スカウトジャンボリー)が開催され、世界161の国と地域から30,000人の参加が予定されています。

スカウト運動は、ノン・フォーマル教育としての役割を果たすべく地域社会で期待され、他の青少年団体と志を同じとする、より良き社会人への成長をめざす運動として、これからも地域に根ざした地道な活動が求められると思います。

事務局日誌

- 4月16日(火) 広報部会(事務局)
- 4月22日(月) アウトドアチャレンジ実行委員会(ボーイスカウト大阪連盟)
- 4月27日(土) キャンプ指導者講習会 理論・実技
~29日(月祝) (吉野宮滝野外学校)
- 5月21日(火) 大阪CONE連絡会(環境情報プラザ)
- 5月25日(土) 日本キャンプ協会 総会・キャンプアカデミー
(東京・オリンピック記念センター)
- 5月26日(日) 日本キャンプ協会都道府県キャンプ協会指導者研修会
(東京・オリンピック記念センター)
- 6月 9日(日) 専門委員会(ドーンセンター)
- 6月 9日(日) 総会・キャンプサロン(ドーンセンター)
- 6月24日(月) ワークショップ「野外教育でまだ答えの出ない問題」
マーク・ワグスタッフ氏(エル・おおさか)

編集後記

夏本番! 山だ! 海だ! キャンプだ!!
事故の無いよう、リスクマネジメント
を忘れずにいたい今日この頃です。

(藤田)

編集:大阪府キャンプ協会 広報部会
武村尚史、小柳敬明、坂谷恵司、
津田晃男、中村舞、藤田歩美
※ご意見・ご希望がありましたら事務局まで
お寄せ下さい

キャンプで
一生の思い出つこう!



OSAKA

Vol. 85
2013年夏号
平成25年7月15日

編集/大阪府キャンプ協会
発行/錦織一郎
〒556-0021 大阪市浪速区幸町2丁目7-3
りそな・アルテビル4階
TEL:06-6561-7800 FAX:06-6561-7801
Contact:osaka@camping.or.jp
http://www.osaka.camping.or.jp
この広報誌はホームページからもご覧いただけます。

大阪府キャンプ協会 キャンプサロン2013

<日本キャンプ協会 BUC対象事業>

キャンプは楽しいだけじゃない

障がいのある人がどこでも楽しく活動するためにキャンプができること

NPO法人キャンピズ理事 桃山学院大学講師 竹内 靖子
NPO法人キャンピズ代表 桃山学院大学兼任講師 水流 寛二
NPO法人キャンピズスーパーバイザー 桃山学院大学教授 石田 易司



温泉キャンプ(おビルの湯)

キャンプは楽しい&温かい仲間がいるところ

キャンプは楽しい。キャンピズキャンプは、参加しているみんなの「やってみたい」を形にします。成功したら一緒に喜んで、失敗したら一緒にどうすればいいか考える。そんな当たり前のことを自然の中で共有する。キャンプ体験を積み重ねることで、障がいの有無、性別、年齢に関係なくたくさんの人が集い、たくさんのことが分かち合える環境づくりや、より住みやすい社会の実現を可能にすると信じ活動しています。

キャンプを続けることで新しい楽しみや生活に挑戦できる!

中学生の頃キャンピズキャンプに参加していた知的・発達障がいのあるAくん(30代)は、ご両親と生活しながら作業所に通ってました。この先もずっと一緒に暮らすだろうというご両親の考えと違い、作業所のメンバーと作ったグループホームで生活するというAくん。理由は「子どものころにキャンプに行ったら楽しかったから、グループホームもきっと楽しいに違いない。」と言っていたそうです。この事例のように、キャンプは自然の中で行われる楽しい活動でもあるけれど、結果的に「自立」を促進することにもつながっていて(石田、2010)、たくさんの可能性があるといえます。



温泉キャンプ(集合写真)



H24年度大阪市民活動
推進基金により作成しました。

いっしょにキャンプしよう!!

楽しいキャンプにするためには、「障がいの有無に関わらずみんなが遊ぶ・楽しむ(キャンプする)ことは当たり前」という考えが大切です。当たり前なのに障がいがあることで、安心して活動する場が少ない傾向(野村、1999)は、様々な団体が様々な場所で活動することにより改善されるでしょう。また、障がいのある人とキャンプをすることは、彼らの楽しみ支援に加え、ご家族のレスパイトや、関わるスタッフの学びもたくさんあり、みんなで成長する場になりそうです。キャンピズのキャンプは、ほぼ毎週末、関西中心に行われています。また、スタッフ研修会も年間を通して行っています。(10/6と12/1開催予定です。)一緒にキャンプしませんか?

(詳しい情報は、キャンピズホームページ(<http://campwith.jp/>)または事務局にお問い合わせください。)

前ページで紹介した冊子「CAMPING FOR ALL」の中身を少しだけ紹介します!

お絵かき大好き

どろもーん



のびたん さん(仮名)スタイル

(25歳 男性 キャンピ歴 10年)

- 絵を描くのが得意です。(芸術的ですが)
ウルトラマンやドラゴンも好きです。
散歩・ハイキングが好きです。
歌・手遊びも好きです。
嫌なこと(我慢しなさいといふこと等)があると、「ドラゴンーん!!」と助けを呼んじたいです。
自分のペースを保ちます。
ダウン症。

のびたんさんのやってみたこと(ご家族の願い)
何にでもチャレンジします!

- のびたんさんへの支援
マンツーマンスタッフ (参加者: スタッフ=4:2)
・スキップのあるコミュニケーション (例: 握手、ハグ、こぼす等)
・見通しをたてること (次にすることを事前に伝える等)
・急がずような関わりは×(気長に彼のペースで...)
・切り替えが難しい時は、目を合わせて伝えたいことを簡潔に伝える。
・切り返しが難しい時は、目を合わせて伝えたいことを簡潔に伝える。
・特になし。

P13イラストは前田由加里さん

平成25年度 大阪府キャンプ協会 総会報告

日時 平成25年6月9日(日)
会場 ドーンセンター (大阪府立男女共同参画・青少年センター)

第1部 総会

出席状況 正会員数 個人387名 団体35
本人出席 35名 委任状 105名

※5分の1以上の出席により、本総会は成立。
規約12条2項により、錦織会長を議長に選出、1議案について審議が行われ、承認されました。

第1号 議案 平成24年度事業報告及び収支決算(案)について

①平成24年度事業概要

21年目を迎え、明日への新たな展開を目指し、設立時の想い「キャンプ活動の健全な発展普及と、関係者の相互連携と資質の向上(略)」をさらに推し進め、指導者養成事業等を開催、指導者の資質の向上や交流の機会を積極的に提供。機関紙やHPの充実を図り、関係団体との連携にも積極的に取り組みました。

24年度の会員数は、前年より22減り、正会員(個人387名、団体35)、指導者会員288名でした。

(1)指導者養成事業及び会員事業

- ・キャンプ指導者講習会 参加者9名
・キャンプディレクター2級養成講習会【PDコース】 参加者12名
・リスクマネジメントセミナーin関西(共催) 参加者73名
・関西野外活動ミーティング2013 参加者93名
・新CD塾(全9回) ※メンバー制(登録23名)

(2)情報収集と提供及び調査研究

- ・広報誌「キャンぷOSAKA」80~83号発行
・調査研究「キャンプリーダーの成長」 他2事業

(3)各種事業との連携

- ・アウトドアチャレンジ「野外力検定」への実行委員会参画
他、2事業への協力及び、5事業への後援

(4)日本キャンプ協会との連携事業

会員事務をはじめ、キャンプ活動の積極的な連携・展開に努めました。

②平成24年度収支決算概要

一般会計

会費収入・事業収入・前期繰越金等、収入合計が5,076,604円、事業費・管理費等、支出合計が3,932,945円となっており、1,142,609円が次年度に繰り越されました。

(単位:千円(千円未満四捨五入))

Table with 2 columns: 収入の部, 支出の部. Rows include 会費収入, 事業収入, 雑収入, 当期収入合計, 前期繰越収支差額, 収入合計, 事業費, 管理費, その他支出, 予備費, 当期支出合計, 当期収支差額, 次期繰越収支差額.

事業特別積立金会計

諸収入・前期繰越金の収入合計2,915,819円全額が次年度に繰り越されました。

(単位:千円(千円未満四捨五入))

Table with 2 columns: 収入の部, 支出の部. Rows include 繰入金収入, 繰入金支出, 諸収入, 当期収入合計, 前期繰越収支差額, 収入合計, 繰入金支出, 当期支出合計, 当期収支差額, 次期繰越収支差額.

報告事項

①平成25年度事業計画及び収支予算について

平成25年度事業計画

昨年度より「明日への新たな展開を目指して」をポスト20周年のテーマに、各分野の運営に取り組んでいます。ホームページも更新され、専門委員会の委員構成も次世代の叡智へと引き継がれました。「キャンプのもつ力」を信じ、人をはぐくむ指導者の育成に果たす役割を認識し、事業運営に取り組みます。参加すること、交流の広がりを作ること、を基盤に各事業を実施し、会員増強を図ります。

日本キャンプ協会では新たな指導者養成のシステム作りも進められており、連携と相互の研鑽を図りながら、キャンプを通じた質の高い指導性の確保を目指していきます。若い力とその発想力を積極的に生かし、世代間の交流、近隣組織連携、機関団体連携、などに取り組む事業を実施していきます。

★関西野外活動ミーティング2013の報告書ができました!

ご購入の方には、1冊800円(送料込)にてお分けします。詳しくは、大阪府キャンプ協会までお問い合わせください。

Table with 3 columns: 月, 日, 事業計画. Rows include 調査研究(年間), CD塾(年間), キャンぷOSAKA 84号発行, キャンプ指導者講習会, 総会・キャンプサロン, キャンプワークショップ, キャンぷOSAKA 85号発行, キャンぷOSAKA 86号発行, リスクマネジメントセミナー in 関西, キャンぷOSAKA 87号発行, CD2級養成講習会(PDコース), 関西野外活動ミーティング2014, アウトドアチャレンジ「野外力検定」.

※BUC...日本キャンプ協会BUC対象事業(予定)
※日程・内容につきましては変更になる場合があります

平成25年度収支予算

一般会計

(単位:千円(千円未満四捨五入))

Table with 4 columns: 収入の部, 支出の部, 収入の部, 支出の部. Rows include 会費収入, 事業収入, 雑収入, 当期収入合計, 前期繰越収支差額, 収入合計, 事業費, 管理費, その他支出, 予備費, 当期支出合計, 当期収支差額, 次期繰越収支差額.

事業特別積立金会計

諸収入・前期繰越金の収入合計2,915,819円全額が次年度に繰り越されました。(単位:千円(千円未満四捨五入))

Table with 4 columns: 収入の部, 支出の部, 収入の部, 支出の部. Rows include 繰入金収入, 繰入金支出, 諸収入, 当期収入合計, 前期繰越収支差額, 収入合計, 繰入金支出, 当期支出合計, 当期収支差額, 次期繰越収支差額.

第2部 キャンプサロン

(P1, 2で紹介しています)

第3部 情報交換・交流会

(1Fパフォーマンススペース)

思っても見ない人に出会ったり、意外なお話が聞けたり。世代や組織を超えて、ワイワイと楽しく語り合いました!!

TOPIC 4 「コミュニケーション」をキーワードに...
「コミュニケーション」をキーワードに、様々な取り組みが行われています。...

「となりのトトロ」の世界?!

キャンプインストラクター資格取得 「キャンプ指導者講習会」に参加して

2013
4.27-29

池西 太郎(東京)

私たちが吉野宮滝野外学校で受けた講習会は、校内での理論研修や実技研修は勿論、キャンプソングの合唱やテント泊、吉野山山頂までのオリエンテーリング、ひいては実習後の掃除(廊下の雑巾がけ)に至るまで、すべてのカリキュラムの中に童心に帰るためのエッセンスが散りばめられていて、何となく「となりのトトロ」の世界で生活しているかのような3日間でした。思えば、スタッフ・講師・参加者の中にジブリキャラクターがチラホラいたような…。

カリキュラムは全体を通してみると、理論と実技(体験)のローテーションを主軸として組まれていたように感じました。テキストや講義で学んだことをすぐ実践する。失敗や成功の原因を理論で学ぶ。そうすることで、理解度も経験値も高くなっていったと思います。個人的には、焚火にかけたステンレス鍋の汚れを簡単に落とすための工夫や、人間関係を深めるイニシアチブゲームの展開がとても新鮮かつ印象的で、後日自分なりのアイデアを取り入れながら再度試してみましました。(成功して周りからは絶賛されました。)

きっと私だけではなく、参加者の誰もが、この講習会で得たものを自信にして、各々のステージで活躍するためのキッカケに出来たと思います。新たな知識や経験を重ねる喜びに気付くことが出来た、そんな3日間でした。スタッフ・講師・参加者の皆さん、素敵な時間をありがとうございました。



讃歌 キャンプ仲間と共に

大阪府キャンプ協会会長
錦織 一郎

あなたに平和があることを望んでいます

シャローム ハベリム
Shalom Chaverim Shalom Chaverim
レヒトラオ
Shalom Shalom lehitraot lehitraot Shalom Shalom

これは、パレスチナ民謡の「シャローム(Shalom)」です。キャンプのエンディングの時、このヘブライ語の詩とともに、次のような日本語の詩でもよく歌っていました。「きれいな思い出抱きしめ また会おう また会おう ○○で」○○の箇所には、キャンプ場やキャンプ地の名前をあてはめて歌っていたことを、また最終日の夜や別れの時に歌っていたことを思い出します。そして、私が大好きな詩は、「緑の星二つ寄り添う 離れても 離れても 寄り添う」でした。大きな声を張り上げないで歌う美しい曲で、明るくリズムカルなものでもなく、今風には「くらい」と言われるような曲調です。

キャンプの最後の夜、カウンセルファイヤー※を実施し、暗闇の中で薪が燃える火を見つめ、きれいな旋律を静かに歌い、ディレクター、カウンセラー、キャンパーのお話を

聴きとって、キャンプと自分をふりかえる時でした。自分の行く先を見つめ、心が洗われるような大切な時間を過ごしていました。その時に歌った「シャローム」は忘れられません。しかし、若き日の私は、この詞の意味を十分に理解していませんでした。ただ、キャンパーの感性に響けば良いのだと思って、「歌い」「語り」「聴き」「望み」、このキャンプを忘れないで大きな人になってほしいというメッセージを伝えようとしていました。そして、このことは、自分自身に対する願いを自分に言い聞かせていたように思えます。

ヘブライ語の「シャローム」は、日常の挨拶に使われますが、「あなたに平和がありますように」「平安がきますように」「健やかでありますように」という意味があります。私たちが最も光り輝く夏、キャンプを閉じようとする時、キャンパーに「これからもあなたが平和でいてください」と願い望むようなキャンプであってほしいのです。

※ゲームや歌を楽しむのではなく、静かにキャンプをふりかえり、自己を見つめるアクティビティ



★ポラリス★ キャンプへの思い

ポラリスとは、北極星のことです。その昔、船乗りは北極星をたよりに、航海していました。今日、私たちがキャンプを行う上でたよとするものは…



子どもたちが主体のキャンプ

NPO法人 ナック 大阪府立青少年海洋センター
桜井 奈津子

海洋センターを訪れた人、キャンプに参加してくれた子どもたちに、非日常的な体験を提供し、『新しい発見』や『感動』を伝えられるように心がけています。特にキャンプ中は、『子どもたちがやりたいこと』を第一に考えて、少しでもその気持ちに応えられるように、全力で努めています。

私は昨年海洋マリクラブという小学校5年生から高校3年生を対象とした年間キャンプを担当しています。1年を通して子どもたちは様々な体験をし、カヌーやヨットの技術が上達していくのはもちろんですが、精神面での『仲間と協力し思いやる』『責任を持つ』ことの大切さ、『何事にもチャレンジする』気持ちを持ち続けること。そういったことにも子どもたちが自ら気づき、率先して活動する姿を見ることが出来ます。ふとそのような瞬間に出会えた時は本当に嬉しく思うのと同時に、キャンプに対するやりがいを感じます。

日を追うごとに身も心も大きく成長していく彼らの良きサポーターとして、今後は今まで以上に『子どもたちの声』に耳を傾けながら、キャンプを行っていきたくと思います。



背骨

大阪YMCA
津田 晃男(専門委員)

私が野外活動に従事するようになったきっかけは何だろうか? 私が記憶しているのは家族で過ごした日本海での思い出。まだ1歳に満たない時から母親に抱かれて兄弟たちと過ごす写真があった。日本海には毎夏訪れていた。父親は素潜りでサザエ・あわび・うに・蛸を獲り、私たち兄弟はその父親の姿を見て育ち、小学生になると獲ったサザエの数を競い合っていた。母親は手漕ぎボートや浮き輪で私たちの安全を守り、また休憩場所となるとともに、海の変化へ気付くことを教えてくれた。帰阪の時には来年も来ることが出来るのか分からない不安に涙するほど楽しい時間だった。その場所は今でも私にとって大切な場所であるとともに、そこで過ごした家族との思い出は、私の背骨となり今でも私を支えてくれているように思える。

これからの世にあって、子ども達の野外活動・教育キャンプの重要性は増し、また自然の中で家族と過ごす時間の大切さも増してくるだろう。これからも子ども達の育みだけでなく、家族が楽しみ、絆を強める活動を展開していきたいと思う。

野外まめ知識

梅雨が明ければ、夏山本番!

豊能登山キャンプクラブ 藤田 歩美(専門委員)

夏山登山での服装はもうお決まりですか?

今回は、登山をする際に選ぶべきアンダーウェアについて、基本的な知識をご紹介します。

登山用アンダーウェアに求められる機能

- ・汗を素早く吸い取り、薄く広げて拡散する(吸湿・拡散性)
- ・乾きやすい(速乾性)

(上記機能を備えた)登山用アンダーウェアに最適な素材

- ・速乾性化学繊維(夏山向け)
- ・ウール(冬山・夏山(高山)向け)

木綿は乾きにくいので登山には不向き!!

それぞれの繊維の特徴

	木綿	化繊	ウール
速乾性	×	◎	△ (しかし濡れても冷たくならない)
吸湿性	○	△ (タイプによる)	◎ (繊維内部に取り込むため、肌はサラサラ)
保温性	○	×~◎ (タイプによる)	◎
価格	◎	○	△
用途(参考)	部屋着向け	夏山向け(タイプにより冬も)	冬山・夏山(高山)向け

※乾きにくい木綿素材が、登山に適さない理由

「気化熱」という言葉をご存知でしょうか? 子どものころ、お風呂あがりに「はやく体を拭かないと風邪引くよ」と言われた経験をもつ人も多いと思います。確かに濡れたままでいると、どんどん体が冷えてしまいます。その原因こそが気化熱です。気化熱とは液体が気体になるときに周囲から吸収する熱のことです。液体が蒸発するためには熱が必要になりますが、その熱は液体が接しているもの(体)から奪って蒸発します。そのため体が濡れていると、表面の水滴が体温を奪いながら蒸発するため、体温が下がり体が冷えてくるわけです。

登山中は大量に汗をかきます。汗を吸った木綿は乾きが遅いためいつまでも気化熱が発生し、体が冷えた状態が続く、というわけです。

山の中での冷えは大敵。そのため、肌に直接触れるアンダーウェアには、吸湿拡散・速乾の機能が求められます。



大阪府キャンプ協会 調査研究部会

“キャンプ・ボランティア”をテーマに、アンケート調査を実施します!!!

調査研究部会は、“キャンプ・ボランティア”をテーマに研究を進めています。現在は、各団体へのアンケートを作成中です。ボランティア(volunteer)の語源は、ラテン語のvoluntas(ウォランタス)であり、自由意思や自主性を意味しています。ボランティアとは「自発的(voluntary)に行為する人」という意味であり、ボランティアという言葉は英国で17世紀の初頭から「志願兵」という意味で使われ始めました。17世紀中頃から「自由意思にもとづいて、自発的に奉仕活動する人」という意味で使われるようになったそうです(内海・入江・水野, 1999)。

これまでの研究から、キャンプ・ボランティアの定義は見あたりませんが、スポーツ・ボランティアの定義については、以下の2つがあります。スポーツの部分をキャンプに置き換えてみてください。

スポーツ・ボランティアとは、報酬を目的としないで自分の労力、技術、時間を提供して地域社会や個人・団体のスポーツ推進を行う活動のことを意味する。ただし、活動に要する交通費等の実費程度の支払いは報酬に含まれない。
(SSF笹川スポーツ財団が実施している“スポーツライフに関する調査”(2004))

地域におけるスポーツクラブやスポーツ団体において、報酬を目的としないで、クラブ・団体の運営や指導活動を日常的に支えたり、また、国際競技大会や地域スポーツ大会などにおいて、専門能力や時間などを進んで提供し、大会運営を支える人のこと。

(「スポーツにおけるボランティア活動研究委員会」(1997~2000))

ボランティアの定義をする際に、議論されることのひとつが、謝金や交通費に関わる金銭のことです。交通費程度が支給されることはよくあることで、交通費が支給されているからボランティアではないと判断するのは無理があります。「報酬を目的としない」ことに着目し、キャンプ・ボランティアを定義する必要があります。この辺りも、キャンプ・ボランティアの参加目的や手当ての調査することで、現状が明らかになるでしょう。

アンケートの項目としては、団体対象には、①募集方法、②対象や期間、③金銭の手当て、④養成方法等。ボランティア対象には、①参加動機、②期間や活動内容、③満足度とその理由、④継続意欲、⑤将来の就職希望先等です。キャンプ・ボランティアにどのような学びの土壌があるのかも明らかにしたいところです。他にアイデアがありましたら、伊原(ihara@ouhs.ac.jp)までご連絡ください。キャンプ・ボランティアについての有意義な調査研究ができるよう、今後のアンケート調査にご協力いただきますようお願い申し上げます。

大阪体育大学 伊原 久美子
(調査研究部会)

極める力。大体大

大阪体育大学は優れた体育・スポーツ指導者養成のために、キャンプ・野外活動を教育プログラムに取り入れています。

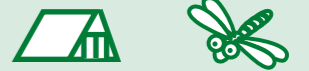
大阪体育大学
OSAKA UNIVERSITY OF HEALTH AND SPORT SCIENCES

PC専用HPアドレス <http://www.ouhs.ac.jp> 携帯専用HPアドレス <http://www.ouhs.ac.jp/m>

■お問い合わせ先 〒590-0496 大阪府泉南郡熊取町朝代台1-1 TEL.072-453-7070 (入試広報部) FAX.072-453-8970



情報掲示板



大阪府キャンプ協会(ユースサービス大阪内) TEL 06-6561-7800 <http://osaka.camping.or.jp>

「事事故例」「ヒヤリハット」事例、募集中!

今年も12月8日(日)に、野外活動での「事故」や「ヒヤリハット事例」の情報を組織を超えて共有し、事故を未然に防ぐために「リスクマネジメントセミナーin関西」を実施します。皆さんの周りで起こった、あるいは、起こりそうになった事故の事例、安全マニュアル等を募集しておりますので、ご協力をお願いいたします。

キャンプディレクター2級養成講習会<PDコース>予告!

プログラムディレクター(PD)に必要なとされるキャンプの企画・運営等のための講習会(理論・実習)を来年2月9日(日)~11日(火・祝)に吉野宮滝野外学校(奈良県吉野郡吉野町宮滝103)で開催します。キャンプインストラクター資格をお持ちの方は、ぜひ挑戦してみてください!(詳細は秋号でお知らせします!)

大阪府立少年自然の家 TEL 072-478-8331

中高生チャレンジキャンプ

日程	2013年8月18日(日)~21日(水)(現地集合・解散)
場所	大阪府立少年自然の家
対象	中学2年生から高校3年生 14名 先着順
内容	移動を伴う3泊4日の冒険活動キャンプ。自作ナイフ作りからシャワークライミング、和泉葛城山頂でのソロ泊などに挑戦します。
参加費	高校生23,000円、中学生20,000円 (期間中の宿泊・食事・プログラム費・保険代等含む)

問合せ 大阪府立少年自然の家 中高生チャレンジキャンプ係
〒597-0102 大阪府貝塚市木積字秋山長尾3350
TEL:072-478-8331 FAX:072-478-8335

大阪YWCA TEL 06-6361-0838

親子プログラム~ジャンボバウムクーヘン作り~

日程	2013年9月8日(日) 13:00~16:00(現地集合・解散)
場所	吹田市自然体験交流センター わんぱくサイト (お車の場合、プール・体育館・公園駐車場をご利用ください)
対象	幼稚園年長~中学3年生とその家族 20組 (子どもだけの参加は不可)
持ちもの	水筒、タオル、軍手(綿100%)、帽子、保険証
参加費	3,500円/1家族(4名まで) 5人目からは1人につき500円追加

問合せ 公益財団法人 大阪YWCA 青少年部(中村舞)
〒530-0026 大阪市北区神山町11-12
TEL:06-6361-0838 FAX:06-6361-2997
Email:info@osaka.ywca.or.jp

ユースサービス大阪(大阪府青少年活動財団)

「心をスッピンに!」女性だけのオータムキャンプ ~アウトドア入門~

高校生以上の一般女性を対象に、アウトドア活動の経験のない方でもご参加いただける入門コースです。「山ガール」に仲間入りしませんか。

日程	2013年10月12日(土)~14日(月・祝)
場所	大阪府立少年自然の家(貝塚市木積字秋山長尾3350)
内容	和泉葛城山トレッキング、ダッジオープン料理、アウトドアグッズのABC、テント泊(希望者)、芋掘り、温泉入浴 等
参加費	22,800円

詳細は TEL:06-6561-7800 FAX:06-6561-7801
<http://www.yso.or.jp>

大阪CONE連絡会

「大阪CONEフォーラムin吉野」を開催

大阪府青少年活動財団が廃校になった小学校を吉野町と協力し平成22年度から運営を始めた「吉野宮滝野外学校」の視察を兼ねながら、現地(地域)プログラム体験と交流会を行います。

日程	2013年11月3日(日)~4日(月・祝)
場所	吉野宮滝野外学校(奈良県吉野郡吉野町宮滝101-1)

詳細はHP、及び秋号で



ウェア・ギアに遊び心も揃えてお待ちしています!

キャンプ、登山、カヌーなどのアウトドア用品は、機能的なアイテムが豊富に揃うモンベル直営店「モンベルストア」へ。

SINCE 1975
mont-bell

全国のモンベルストアへ、ぜひお立ち寄りください

ALBi大阪駅店 JR:大阪駅 大阪市北区梅田3-2-135 ALBi TEL/06-6346-7544	あべの店 近鉄:大阪阿部野橋駅 阪神電車:天王寺駅前 JR:地下鉄:天王寺駅 大阪市阿倍野区阿倍野筋1-3-21 岸本ビル1,2階 TEL/06-6628-1231
大阪鶴見店 地下鉄:門真南駅 大阪市鶴見区茨田大宮2-7-70 三井アウトレットパーク大阪鶴見 4階 TEL/06-6912-3400	箕面店 地下鉄:千里中央駅よりバス10分 大阪府箕面市西宿1-17-22 箕面マーケットパークヴィンラ EAST1-2階 TEL/072-749-5358

株式会社 **モンベル** 【お問い合わせ】モンベル・カスタマー・サービス ☎0088-22-0031/TEL.06-6536-5740 www.montbell.jp